

3月11日は浸水対応避難訓練



開成町長 府川 裕一

あけましておめでとうございます

昨年は、4年間で取り組む政策と、その優先順位を示したマニフェストを作成しました。また、東日本大震災を教訓に、町民・自治会・行政が協働で町の防災対策など、今後の町づくりを考えるために町民集会を行いました。

近年、台風の大規模化やゲリラ豪雨の多発などにより各地で大きな被害が発生しています。開成町でも一昨年、台風により開成水辺スポーツ公園が冠水し大きな被害を受けました。酒匂川の増水した水が堤防を越えて住宅地まで迫ってくる可能性が心配されます。浸水に対する訓練を考えなければなりません。

東日本大震災からちょうど一年後の3月11日に、酒匂川が増水し、住宅に浸水す

る場合を想定した「浸水対応避難訓練」を初めて実施します。この訓練では、特に町から発信される避難情報が正しく皆さんにお伝えできるかが重要と考えています。今後も防災力の強化に取り組んでまいります。

現在、平成25年度から36年度までの12年間で計画期間とする第五次総合計画を策定中です。

町の最重要計画である総合計画の策定にあたりまして、町民の皆さんの意向や視点を重視する観点から、町民参加によるワークショップ形式の会議を実施いたしました。開成町は「明るい未来に向けて人と自然が輝くまち・開成」を将来像として、町民と行政が一体となってまちづくりを進めることを提言されました。

この貴重な提言を尊重し、今年1年かけてさらに議会や各種団体のご意見を伺いながら、これからの町づくりの指針となる基本構想やそれを実現するための基本計画を策定し、第五次総合計画としてまとめたいと思います。

今年も町民の皆さんの目線で考え、行動するために、積極的に皆様方のところにお伺いし、皆さんの声を直接お聞きしながら、町づくりを進めて行きたいと考えています。